ベトナム国 環境保全に資する干満式人工湿地による水質浄化システムの案件化調査

株式会社ウエスコ（岡山県）、株式会社安井建築設計事務所（大阪府）

ベトナム国汚水処理分野における開発ニーズ（課題）

- 経済成長に伴う生活・産業排水の増加の一方で、浄化施設の整備が追いついておらず、汚水が河川や湖沼などの公共水域に直接放流されている。
- 水源となる河川や湖沼の水質悪化により、人の健康や生活環境の悪化、またエビ等の水産養殖業にも被害が生じている。

提案製品・技術（干満式人工湿地による自然浄化システム）

- 潮が満ち引きする干潟の自然浄化システムを応用した手法であり、ろ床内の水位変動や植物・水生動物の働きにより、高い水質浄化能力を実現する。
- 電気や薬品、フィルターなどを使用しないため、維持費や管理の労力が小さく、温室効果ガスの排出もなくクリーンかつ省エネという特徴を有する。

本事業の内容

- 契約期間：2022年3月～2023年9月
- 対象国・地域：ベトナム国ハノイ市およびメコンデルタ地域
- カウンターパート機関：天然資源・環境省 ベトナム環境総局他
- 案件概要：　干満式の人工湿地によって水質の有機汚濁を改善する自然浄化システムの案件化調査。本事業を通じて、公共・民間へのビジネス展開を図り、持続可能な環境保全社会への貢献を目指す。

干満式人工湿地による自然浄化システム

開発ニーズ（課題）へのアプローチ方法（ビジネスモデル）

- 現地法人を設立し、①都市湖沼の浄化を行う行政機関（県、市・省）および、②エビ等水産養殖業者などの民間業者へ提案技術の導入を行う。
- 当社は提案システムの基本計画、設計を担当し、施工は事業パートナーの現地建設会社が行う。
- コア機材のサイフォン装置は日本から輸入し、その他資材やろ材・植生については現地調達を行う。

対象国に対し見込まれる成果（開発効果）

- 都市湖沼を含む公共水域の水質浄化により、周辺住民の健康被害を軽減し生活環境を向上させる。
- ベトナム経済を支える水産養殖業の経済的損失を軽減し、付加価値・収益性を向上させる。
- 温室効果ガスを排出せず、また、グリーンインフラとして整備されることで、マングローブ林の再生を含む生態系の回復と持続的土地利用へ貢献する。

2022年3月現在